

フードスタンププログラムのための制限付き口座同意書 Part A

ケース名	ケース番号
郡担当者名	担当者番号

下記の規則を読み、それぞれの欄にイニシャルを記入してください。

イニシャル	私は以下の点を了解いたします。
	資金は、銀行、クレジットユニオン、普通預金口座、ローン等の金融機関に保管し、制限付き口座の資金はすべて、他の口座とは別に保管しなければなりません。
	口座情報の証拠を提出しなければなりません。口座情報には次のようなものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 銀行等の名称および所在地が記載された、銀行・クレジットユニオン等の計算書または領収書 制限付き口座同意書に署名した日付以降の残高および取引明細一覧 口座名義人氏名
	制限付き口座から資金をどのように引き出したかの証拠には、次のものが含まれることを理解するものです。 <ul style="list-style-type: none"> 取り消された小切手 支出の内容と金額を示す商品・サービスの提供者からの署名入り陳述書 領収書
	制限付き口座は、次の場合停止されます。 <ul style="list-style-type: none"> 制限付き口座に関する証拠書類を担当者に提出しない場合 私の家族のフードスタンプ給付が中止された場合 制限付き口座が閉じられた場合 制限付き口座に関する法令が変更された場合
	制限付き口座における最大貯金額の制限はありません。制限付き口座は複数持つことができ、制限付き口座の残高合計は、私の家族の財産制限には含まれません。
	いかなる理由であれフードスタンプが中止され、給付の中断があってからフードスタンプを再申請する場合、制限付き口座(複数の場合も含む)の残高をすべて含め、私の財産総額は、\$2,000/\$3,000の財産制限を超えることはできません。新たな制限付き口座の開始を申請するには、新たに制限付き口座同意書に署名する必要があります。給付が中断された場合、給付制限付き口座同意書が新たに求められます。
	制限付き口座から資金を引き出し許可されている支出に使用されなかった場合、生命に関わる緊急時の支出があったにしても、引き出された金額は、財産制限に含まれ、郡は財産を再評価することがあります。
	制限付き口座を開始する前に、緊急時その他の支出のために \$2,000 財産制限 (家庭構成員に障害者あるいは年齢 60 才以上の者が 1 名でもいる場合は \$3,000) に近い財産を所有している要件。
	四半期毎に所得と家庭内の変更事項を報告し、その四半期中に引き出しを行った場合、次回の所得報告で引き出しを報告することが求められています。四半期毎の報告を行っていない場合は、引き出し後 10 日以内に引き出しを報告しなければなりません。
	制限付き口座で得られる利子は、その口座に直接入金する必要があります。利子が私に送金された場合は、制限付き口座に戻さなければなりません。
	制限付き口座に貯蓄されているお金は、以下の事柄に直接関連する許可された支出にのみ使用することができます。 <ul style="list-style-type: none"> 居住する家屋の購入 新しい事業の開始 口座名義人およびその扶養家族(複数可)のための教育や職業訓練

証明

私は表紙を読みました。制限付き口座を開始・維持することに関する規則および責任で上記でイニシャルを付けたもの、ならびに**制限付き口座**を開始する前に緊急時その他の支出のために \$2,000 財産制限 (家庭構成員に障害者あるいは年齢 60 才以上の者が 1 名でもいる場合は \$3,000) に近い財産を所有している要件を、私は理解しています。許可される支出が不明確な場合やどのような証拠が必要か、あるいはいつ証拠を郡に提出する必要があるかなどに関し、確信がない場合、私は担当者に相談します。

家族筆頭者または指定された代理人の署名または記号	日付
証人または通訳の署名または記号	日付